

宇都宮市立宝木小学校第6学年児童質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

○「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時間に寝ていますか」という設問に対しては、全国平均をそれぞれ9.2ポイント、4.3ポイント上回っている。基本的な生活習慣の確立ができている。
○「話を最後まで聞くことができる」という設問に対しては、全国平均を12.6ポイント上回っている。話を聞く学習習慣が身に付いている。

○「学校のきまりを守っていますか」「友達との約束を守っていますか」という設問に対しては、全国平均をそれぞれ8.2ポイント、10.5ポイント上回っている。きまりや約束事に対して、真摯な態度が見られる。

○「人の気持ちが分かる人間になりたい」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問に対しては、それぞれ全国平均を4.1ポイント、9.6ポイント上回っている。他の人を思いやる気持ちをもっていることがよく表れている。

○「読書は好きですか」という設問に対しては、全国平均を11.1ポイント上回っている。朝の読書や読み聞かせなどの日々の読書活動が定着し、意欲喚起につながっている様子が見られる。

●「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」という設問に対して、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と否定的に答えた児童は、全国平均を4.5ポイント上回っている。人前での発表に対して苦手意識が見られる。ペアやグループによる学習をこれまで以上に取り入れ、発表する機会を増やしていきたい。

●「家で、学校の授業の予習をしていますか」に対して、「あまりしていない」「全くしていない」と否定的に答えた児童は、全国平均よりも0.9ポイント、県平均よりも8.2ポイントも上回っている。学習内容の定着のために自ら復習を行う姿勢を身に付けさせる必要がある。「学習の手引き」を活用していきたい。

●「400字詰め原稿用紙を2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」という設問に対して、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた児童は、全国平均を4.2ポイント上回っている。文章を書くことに対して苦手意識をもっている。作文指導の充実を図っていきたい。